

インナーハウス プレゼン部門 2019 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナル名（フリガナ）
フリガナ) アジアダイガク	フリガナ) コクサイカンケイガクブ	フリガナ) クノゼミナル
亜細亜大学	国際関係学部	久野ゼミナル

※大会申込書に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) クノゼミチームシー	フリガナ) ホウヤチエ			
久野ゼミチーム C	保谷知枝	6	無	

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物（例：商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート）

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただいております。

研究テーマ（発表タイトル）

公開しようホワイト校則～なくそうブラック校則～

※必ず＜企画シート作成上の注意＞を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

高校における、理不尽な校則によるトラブルが近年増加しており、大阪地震発生後にも関わらず、携帯電話を持ち込んだ学生が教師に没収される出来事があり、SNS 上で議論的になるなど社会的問題になっている。また、ジャパンタイムズでは、“日本の心ない厳しい校則は、生徒たちを同一化させる”という記事が掲載され、現在ブラック校則は国際的にも問題視されている。そこで今回私たちは、ブラック校則を見直していくにはどうすればよいのか、また校則によるトラブルを未然に防ぐにはどうすればよいのかを考え “より良い学校生活のために受験生が各高校にある校則を事前に知り、校則によるトラブルを未然に防ぐサイト”を提

案する。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

調査によると各都道府県によるが、校則開示は高校の独断では行えず、教育委員会による許可や手続きが必要であるため、大多数の高校が校則の開示をしていない。平成三年に文部科学省が校則の積極的な見直しをすべきと通知し、実際に、東京都世田谷区立の中学校の校則が今秋から各校の HP に公開することが発表されたが、まだ校則の見直しや、ブラック校則をなくすための努力が必要である。先月、理不尽な学校の決まりが子ども達を傷つけていたとして、「ブラック校則をなくそう！プロジェクト」のメンバーが、活動に賛同する約 6 万人の署名と改善を求める提言書を、柴山昌彦文部科学相に提出し、人権侵害にあたるような校則や指導を早急に把握し対応すべきと求めた。文部科学省にも校則の現状に関する調査を要請した。

3. 研究テーマの課題

研究テーマの課題は、四つあると考える。一つ目は、校則開示に対して否定的な学校が大多数であること。二つ目は、実際に公開している学校数が明らかに少ないということ。校則は、内面文書として秘密扱いであり、開示することによって、社会的に批判されることのリスクが学校・校長・教員にとって不都合であり、公にされづらいことがある。三つ目は、生徒手帳に記載されている校則と記載されていない校則が存在し、入学後の教師と生徒の間でトラブルが多発しているというである。四つ目は、校則に対する検査や指導方法などに問題があり、日本には指導死という言葉もある、ということから指導方法に対する見直しが必要とされている。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

校則内容や指導方法などの情報を入学以前から共有できる場をインターネット上に作ること。そのために、校則開示の有無、またどのような校則が存在するかなどの情報を、実際の高校生からアンケートを用いて収集し、その結果をもとにさらに、アンケートの協力を求めるポスターを作成し、掲示する。また SNS を活用し、この運動を広め、様々な学校の校則内容や指導方法をサイトを通して共有していくこと。校則開示は学校のイメージ改善、志願者増加、校則によるトラブル回避など、多くのメリットがあり、生徒にとっても校則によるトラブルや人権被害を未然に防ぐ、志望校を選ぶ際の新しい選択肢にもなるというメリットもある。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

高校卒業生 221 人に高校の校則に関する独自アンケートを実施。さらに、大学内で 100 人にインタビューを実施。

6. 結果や今後の取り組み

実際に Web サイト制作会社に制作の依頼をし、サイトの制作が終了したら、サイトの認知度を上げる為に広報活動を行う。具体的な方法は、SNS、口コミ、ポスターを活用する。さらに Web サイトに掲載する情報を高校生から収集をする。

7. 参考文献

1. 文部科学省「校則見直し状況等の調査結果について」

http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/nc/t19910410001/t19910410001.html

2. 朝日新聞デジタル「黒染め強要で不登校生まれつき茶髪の女子高生が提訴」

<https://www.asahi.com/articles/ASKBS6D22KBSPTIL024.html> 2017 年 10 月 27 日 11 時 33 分

3. 朝日新聞デジタル「地毛なのに黒染め、校則なぜ「校門で帰す」と指導 教員側に疑問・葛藤も」

<https://www.asahi.com/articles/DA3S14163748.html> 2019 年 9 月 3 日 16 時 30 分

4. BBC NEWS 「Japan teen ‘forced to dye hair black’ for school」

<https://www.bbc.com/news/world-asia-41776203> 27 October 2017

5. the japan times 「School rules in Japan offer harsh lessons in mindless assimilation」

<https://www.japantimes.co.jp/community/2018/11/25/issues/harsh-lessons-mindless-assimilation/#.XYo0Nij7Ryw> 25 NOV,2018

6. Special pedagogiska skolmyndigheten 「Laws and rights in Swedish schools」

<https://www.spsm.se/om-oss/english/the-swedish-education-system/laws-and-rights-in-swedish-schools/>

7. 文部科学省「校則」

http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/hpba200501/002/002/0205.htm

8. 東京新聞 「「ブラック校則」を見直そう 世田谷区立中学の校則、今秋からHPで公開へ」

<https://sukusuku.tokyo-np.co.jp/education/17238/> 2019年6月15日

9. 朝日新聞デジタル 「黒染め・下着の色指定…ブラック校則の撤廃に6万人署名」

<https://www.asahi.com/articles/ASM8W678YM8WUTIL03Z.html> 2019年8月28日18時17分

10. 荻上チキ『ブラック校則 理不尽な苦しみの現実』東洋間出版社 2018年7月31日

11. 「ブラック校則をなくそう！」プロジェクト <https://www.black-kousoku.org/>

12. 日本弁護士委員会著者『子どもの権利ガイドブック』【第2版】明石書店、2017

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナーハウス終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様（株式会社日経BPマーケティング）に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナーハウスプレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しいたします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン部門)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・株式会社日経BPマーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを4ページ以内におさめて、ご提出ください